レッスン：SPA NO.83

テーマ：２番目のサイクルにおける助け

SPA 83/KE 2001 N 2&3

私の姉妹・兄弟たちよ、

スピリット・火・光の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

これまでのレッスンで、無知のステートにいる間、人間にはそのサイクルにいる間にそのサイクルの素質的可能性をマスターすることが可能となるように、沢山の助けが提供されると説明しました。

現在のパーソナリティーの大きなサイクルの中で、５つの小さなサイクルが与えられると述べました。最初のものは、本能的意識のセルフ・エピグノシスですが、このサイクルをマスターして完了するためのどんな努力も必要ありません。

２番目のサイクルは非常に重要です。なぜなら、このサイクルのなかにいるパーソナリティーはまだ地のエレメントになかにいるからです。つまり、現在のパーソナリティーは私たちが墓と呼ぶ部屋のなかにいます。そして現在のパーソナリティーが部屋の外に出て、部屋から地上までの距離を旅して、大きな四面ピラミッドのなかにいる自分を見出す事ができるようになるために、このサイクルは助けを提供しています。

それらの助けは素質的可能性のサイクルから提供されている、と言いましたが、現在のパーソナリティーはそれに気づいていません。ですから現在のパーソナリティーは何かそれと似たようなものを築く必要があります…素質的可能性のサイクルから与えられるものに近いものを。

まず、現在のパーソナリティーは４つのエレメントを意味する小さな四面ピラミッドを築く必要がありますが、現在のパーソナリティーがそれらのエレメントをマスターしているか否かは全く別問題です。いくらかはマスターするかもしれませんが、４つのエレメントに対してどの程度マスターしているでしょうか？次の助けですが、それは三面ピラミッドです。三面ピラミッドは「生それ自身」の絶対英知、絶対善、絶対パワーを意味します。それらは勿論全ての人の内側にあります。

「生」のどれぐらいが与えられているでしょうか？それを示すのはこのピラミッドです、そしてまた現在のパーソナリティーが４つのエレメントをどれぐらいマスターするかも。ですから３面ピラミッドは非常に重要です。

次の助けは五面ピラミッドであり、それは五感を意味します。五感は実際に全ての人を同じように活性化（＊エネルギーをもたらす）したでしょうか？答えはノーです。そして活性化と言うとき、それはどういう意味でしょうか？五感を活性化すると言う時、それは

５つの真の感覚に向けてエネルギーを高める、活性化するという意味です。どれだけ五感のエネルギーが活性化しているか、その段階はいろいろあります。なぜなら誰もが潜在意識的に５つの真の感覚を使っていますが、意識的にではありません。

実際、五面ピラミッドはそれを意味しています、五感がどれほど５つの真の感覚に近づいているか、それは現在のパーソナリティーが「生」をどれだけ現しているかによります。それは勿論、現在のパーソナリティーがどれだけ三面ピラミッドをマスターしているかによります。ですから鍵は三面ピラミッドですが、現在のパーソナリティーは同時に他のすべての助けについてもワークする必要があります。

Page2

他にも助けがある、と言いました。なぜなら実際それは助けではなく、他の３つのピラミッドをマスターした結果として築かれるものです。**その助けとはいわゆる一面ピラミッドであり、それは意識の限界なしに意識があらゆる方向に広がっていくものです。さてこれがどれだけ現されるか、それは他のピラミッドのマスター次第です。**この素質的可能性のサイクルがどれだけ与えているか、それはまた全く別問題ですが、勿論そこには限界があります。各サイクルはそれぞれあるレベルを与えます。つまり、「生」からどれほどを現在のパーソナリティーが現すことができるかのレベルです。

部屋とは何か？部屋は現在のパーソナリティーに何を提供しているのでしょうか？前のレッスンでは、部屋は無知の境界が実際「どれだけ」であるか、を示していると説明しました。どれだけ無知が表現されているか、それは現在のパーソナリティーがどれだけ素質的可能性のサイクルをマスターしたか、ということです。

部屋は一般的に無知の境界を提供していますが、「どれだけ多く」ではありません。なぜなら、人によっては「私の境界はあなた方とは異なる」と思うかもしれませんが、そうではありません。実際、最初のサイクル、２番目のサイクルにいる間は部屋は全ての人にとって同じなのです。

ですから、私たちは部屋にいます。そしてこの部屋は、その人が真の本質を表現する上での限界を提供しています。そして、それがどのように起きるかは以前のレッスンで説明しました。

部屋は現在のパーソナリティーにそれ以外に何を提供しているでしょうか、生の本質を完全には表現できないということだけでしょうか？それだけではありません。部屋はまた現在のパーソナリティー、現在のパーソナリティーの無知に対して保護を与えています。それは保護を提供しており、私たちはその部屋の壁に裂け目を作るようなことを決してするべきではありません。好奇心から、何らかの能力、パワーを現したいという思いにかられてそのようなことを決してするべきではありません。なぜなら、サイコノエティカルな成長による結果を伴わずにパワーや能力を現すことは、部屋の壁に裂け目を作る結果となります。その結果、エレメンタル達があなたを助けるために部屋に入ってくるのを許してしまいます。通常それらのエレメンタルは悪魔的なものであり、それは人間の無知によって作られたものです。

ですから決して裂け目を作って部屋の壁に穴を開くべきではありません。私たちは自分がどこにいるか、部屋の中には何があるかを認識するようにすべきです。実際、私達は何であれ部屋にあるものを創造したのです…それら全てのエレメンタル、エレメンタルの伝説など。それらの創造物は私たちに戻ってくるでしょうか？答えはイエスです。なぜなら、それらの創造物は部屋の外から来たのではないからです。それゆえ何であれ自分が創造したものを経験するのです。それらのエレメンタルは私たちの部屋の中にのみ存在するのでしょうか？違います。何であれ自分達が創造したものはその部屋に留まりますが、同時にその同一体が部屋の外に出て、いわゆる汎宇宙的潜在意識のマインドに入ります。

決して部屋の外のエレメンタルが部屋に入るのを許すべきではありません。なぜなら、それらは私たちに影響を及ぼし、現在のパーソナリティーはそれらを除去するために大きな問題に直面するからです。一度それが部屋に侵入すると、とても困難です。現在のパーソナリティーはそれを除去することができず、その結果として悪夢が生じることでしょう。そして徐々にその現在のパーソナリティーの現れがアンバランスなものとなります。

今、アンバランスと言いましたが、以前のレッスンで現在のパーソナリティーは調和のステートにいるべきだと言いました。サイキカルとノエティカルの間にバランスがあるべきです。アンバランスとは問題が生じることを意味します。

「アンバランス」とは実際何を意味するのでしょうか？諸体がどれだけ共に成長しているか、と関係しているのでしょうか？違います。アンバランスとは現在のパーソナリティーの二元性の間の関係を意味します。過去のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーには２つの小さなエゴがあり、それら２つのエゴを活性化するスパークは「生」のスパークであり、それは小さなエゴの一つに根ざしています。

まず最初、素質的可能性の一番目のサイクルでは、それら２つのエゴは一つになっています。現在のパーソナリティーは二元性を表現していません。それゆえにいわゆる本能的意識のセルフ・エピグノシスを現しているのです。現在のパーソナリティーは機械的に生きており、自分の存在すら認識していません。考えを表現することはありません。なぜなら考え、思考は二元性の結果だからです。

Page3

ですから、２つの小さなエゴは一つになっています。しかし転生の結果、それら２つの小さなエゴは分離していきます。それらが分離し始めた瞬間、思考形態が生じます；考えが表現され始め、人間は徐々に少しずつ自分の存在を認識するようになります。

さて、「生」のスパークは他の小さなエゴから分離し始めた小さなエゴに根ざしています。ですから２つの小さなエゴがあり、一つは無知の中に留まることを欲しており、もう一つは「生」によって啓発へと引っ張られます。しかし、それら２つの距離がある状態、ある程度の状態になると、それら両方が「生」のスパークに向かって動くようになります。そして両方と言うとき、距離を想像しないでください。なぜなら、前に述べたように「生」のスパークは１つに根ざしています。そしてそれら両方が動くといいましたが、そのように表現しました。距離を考えないでください。その動きとは現在のパーソナリティーがどれだけ「生」から自らを表現しているか、ということです。

さて、現在のパーソナリティーがアンバランスな現れを表現している時、何が生じるでしょうか？実際、２つのエゴがお互いにそのように対しているのです。両者の間には安定性がありません。それらは動揺しており、隔たりが出来たり、消えたりします。それら２つのエゴの間には常に動揺があります。それがアンバランスな現在のパーソナリティーの現れです。

ですから、もし外側からのエレメンタルの侵入を許すと、このアンバランスなステートを経験するという危険があります。なぜなら、実際に悪魔と直面し、それらを取り除くことはできないでしょう。１つ、あるいはいくつかのエレメンタルが侵入した時、ちょっとしたアンバランスを経験することになります。その時、助けを受け入れれば、ほとんどの場合、助けは成功するかもしれません。しかし、もしそれらのエレメンタルが長期間留まることになると、その現在のパーソナリティーのバランスを取り戻すのは非常に困難になります。なぜでしょうか？なぜなら、その現在のパーソナリティーは、それが直面するものに応じて自分自身のエレメンタルを作り出し始めるからです。そしてその現在のパーソナリティーが自分の部屋のなかで作り出すエレメンタルのエネルギーを低下させるのはとても困難です。なぜなら、その現在のパーソナリティーは絶えずエレメンタルを作り出し、それらにエネルギーを付与するからです。それは外側から来るのではなく、今や現在のパーソナリティーは自分自身のエレメンタルを創造し、それがアンバランスを生み出すのです。

これは現在のパーソナリティーが外側からのエレメンタルに直面する時にのみ、そのようなことが起きるのでしょうか？答えはノーです。時には、部屋の壁に裂け目ができなくても、現在のパーソナリティーの現れの結果として、現在のパーソナリティーの日常生活における生き方の結果として、その人が悪魔のような創造物を作り出すことがあります。そしてその場合、その現在のパーソナリティーを助け、それらを取り除くのは最も困難です。ですから、私たちは決して、決して最終的に益にならないことをやろうとすべきではありません。なぜなら、何であれ自分が創造したものは部屋のなかに留まり、それを創造した現在のパーソナリティーに直接影響を与えるからです。

ですから、部屋があり、実際それは無知の能力を与えますが、同時にその部屋は現在のパーソナリティーを守っているのです。部屋の唯一の出口は四面ピラミッドによって提供されます。そしてそれは、現在のパーソナリティーがこの小さな四面ピラミッドをマスターした時にのみ可能となります。説明したように小さな四面ピラミッドの頂点は部屋の中にはありません。頂点とは現在のパーソナリティーなのであり、それはそのピラミッドの上に位置しています。部屋の中のピラミッドの一番上は平らになっており、現在のパーソナリティーがその平らな面の上に立った時、それは完成されます。完成されるということは、現在のパーソナリティーが部屋の外に出ている自分を見出すことです。それが唯一の出口です。ですから、私たち決して部屋の壁に裂け目を作るべきではありません。

二元性は現在のパーソナリティーが１番目、２番目、３番目、そして４番目の素質的可能性のサイクルにいる時にのみ使用されます。現在のパーソナリティーが５番目のサイクルに入るやいなや二元性はもはや使用されません。その瞬間現在のパーソナリティーは二元性を使用せず、もはや考え、思考を使用しません。つまり、現在のパーソナリティーにとって五感は無用となるのです。なぜなら、同調(attunement)を使うからです。これが生じるとき、現在のパーソナリティーは自動的に現在のパーソナリティーの自己実現に到達します。

Page4

さてあなたの努力とは何であれこのサイクルが提供するものを利用することです。しかし、そのサイクルが提供するものを利用するステートに到達するためには、まずあなたはエーテルの特質をマスターしなければならないのです。

エーテルの特質は前に述べたように、運動、感覚、そして刻印エーテルです。創造エーテルには触れません。創造エーテルはそうと自覚することなく今でもあなたは使用していますが、それは聖霊の監督下にあります。あなた方はこれらエーテルの特質をマスターする必要があります。その結果、何であれあなたが築き、見て、そして触れたいと思うものを築けるようになり、後のステートにおいて、何であれサイクルそれ自体が提供しているものと完全にマッチするかどうか比較することができます。勿論、初めのうちはそれがいくらか違っているかどうかはそれほど重要ではありませんが、真のワークがスタートするとそれは非常に重要になるでしょう。

ですから、今あなた方がするべきことは、前に与えたエーテルの特質をマスターするというエクササイズを実践することです。既に知識は与えられているので、それに実践を加えるのです。ですからそれら全てのエクササイズをするべきです。なぜなら、この期間私たちはたくさんのエクササイズ、実践ワークを行うからです。理論はそれを実践しないなら、それは役に立ちません。ですから次のレッスンからはエクササイズをスタートし、勿論もっと詳細に入っていきます。

質問：２つのエゴが互いに離れすぎるとアンバランスになるのですか？

Ｋ：実際には２つが互いに関係しあう方法によります。もし動きが生じると、安定した距離が維持されず、それらが揺れ動き、それがアンバランスとなります。ある時あなたが誰かから英知ある言葉を聞くかもしれません。その時、その人は「生」のスパークと共にある１つのエゴから自らを表現しています。しかし、次の瞬間、ナンセンスなことを言い始めます。そのパーソナリティーは１つのエゴからもう一つのエゴへと動いています。なぜなら、それら双方の間には安定した距離がないからです。そのようなことが生じると、その人の表現は２つの間を行き交い、どちらか１つになることがありません。そのような時にアンバランスな現れとなるのです。

ノーマルなパーソナリティーの場合、２つのエゴの間の関係は安定しており、両方が「生」のスパークへ到達しようとします。

「罪悪感」においてはある距離があり、「生」のスパークが何であれ２つの間にあるものに影響を与えます。そして双方がスパークの方へと動き、スパークを吸収しようとすればするほど、その人の中でスパークがより多く表現されるようになります。それゆえに、より進化した現在のパーソナリティーは、他の人よりも「罪悪感」を感じるようになるのです。なぜなら、スパークがより多く現されているからです。もっと高次のレベルに到達すると、そのパーソナリティーはそのようなことを体験しなくなります。なぜなら、価値あるものと無いもの、益あるものと無いものを認識するようになるからです。アンバランスを生み出さないように大いに注意する必要があります。なぜなら、それは誰にでも起こりうるもので、アンバランスは簡単に生じるからです。

Ｑ：裂け目を作るのを避けるように、と言いましたね。中に入るあるエレメンタルが私たちの役に立たないとどうしてわかるのですか？

Ｋ：波動の高いエレメンタルは裂け目を作るようなことはしません。裂け目を作らずに入ります。エンジェルは人間が作ったものではなく、アークエンジェル（大天使）によるものです。それらは「生それ自体」に奉仕しますが、他のエレメンタルは人間の無知に奉仕しています。

あなた方が神に祈る時、あなたは神または聖者、または最も広大なるヘブン(Widest of Heavens)、あるいは最愛のお方をどのように理解するかに応じてエレメンタルを創造します。あなたはエレメンタルの大群を創造し、それらのエレメンタルにはある程度の力があります。それはあなたが与えた力であり、それが再びあなたに戻ってきます。もしあなたがたとえ神を見ることができなくても神を信じるなら、そうと知らずに自分自身を助けていることになります。それゆえに、他人が神をどのように理解し信じているかという、誰か他の人の信念をけっして揺るがすべきではありません。なぜなら、神への信仰、信念は人間に力をもたらすからです。例え、昔のように偶像または岩を信じているとしても、人間は自分自身の神を持っていたのです。そうです、彼らの信心がその人に効果をもたらしたのです。例え、山、岩、あるいは動物を信じていたとしても、その信心が現象を創造し、それが現代でも起きているのです…様々な名前の下で最も広大なるヘブン(Widest of Heavens)が関与する奇跡の出来事を耳にするときに、それが生じています。**人間の信念が巨大なエレメンタルを創造します。**私たちはいつも「汝の意志が行われるであろう」(Thy will be done)と言うべきであり、「もし求めるなら、それを受け取るであろう」というイエスの言葉を覚えているべきです。

Page5

Ｑ：様々なアークエンジェル達に同調することによって、彼らは私たちに力を与えて助けてくれるということはないのですか？

Ｋ：現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルはそうします。しかし、その他のアークエンジェルたちは私たちの重荷を軽くするということはしません。守護天使は助けてくれます、守護天使は全ての人の内側にある「生」のスパークと協力し、そして原因・結果の法則と関わりながら助けます。誰かに何かが起こりそうな時に、原因・結果の法則の結果としてそれを回避できる可能性がある時には、守護天使と「生」のスパークはその人がそれを回避できるように助けます。

Ｑ：大きなピラミッドまでの距離を旅するためには、パーソナリティーはヘラクレスとなる必要があるのでしょうか？

Ｋ：違います。一度部屋の外に出たときにジャングルのなかで直面することになる怪物たちに対面することができるようにために、部屋の中でパーソナリティーは必要な手段全てを得ることができます。それらの怪物とは地のエレメントのなかのエレメンタルたちです。しかし、あなた方がそれらのエレメンタルと向き合うために半神になるわけではありません。それらのエレメンタルがあなたに影響を及ぼすことがないように、あなたは「生」から多くを現す必要があります。なぜならその時、あなたの波動は高くなっているからです。あなたが伝え、受け取る波動は地のエレメントの中にいるそれらの創造物たちともはや同じではありません。それが、２番目のサイクルを完了、マスターするときにあなたが達成するものです。

３番目のサイクルでやるべき努力は「生」から非常に多くを現すということです。その結果、エゴの様々な側面を除去することができるように。勿論、４番目のサイクルでもそれを行います。「生」から非常に多くを現すことによって、火の洗礼を受ける準備をします…それは４番目のサイクルからスタートします。そうです、あなた方は３番目のサイクルにいる時にヘラクレスになるわけですが、３番目のサイクルにいる時にはエゴの様々な側面を殺すことはしません。それは４番目のサイクルで行われます。ヘラクレスとしてあなたは様々なエゴの側面を除去し、殺しますが、それはあなたがその梯子を完全に昇ったことを意味します。

あなたが大きなピラミッドに入ってから行う努力とは、大きな四面ピラミッドをマスターすることです。実際、そこには３つの段階があります。最初は３つ目のサイクルに対応するもの；２番目の段階は４番目のサイクルに対応し、最後は３つめの段階ですが、それは５番目のサイクルの完了です。それはそのパーソナリティーが頂上に立つという動きです。それゆえに５番目のサイクルでは努力はいらないと述べているのです。それは自動的な動きであり、頂上に立って、四面ピラミッドを完成させるのです。

Ｑ：それでは私達が何をしているかというと、私たちは小さな四面ピラミッドの中にいて、そのピラミッドは実際に存在する四面ピラミッドのアイディアに従って私たちが創造するものです。そして小さな四面ピラミッドのなかには私たちを守る部屋があります。そして部屋が消えると、私たちは本当の四面ピラミッドの中にいます。それは同じですが、でも真のピラミッドなのですね。

Ｋ：本当のピラミッドはありません。大きな、または小さなピラミッドであろうと、それは何かリアルな、現実のものではありません。それらは助けであり、法則それ自体から提供されているものです。勿論、リアルと言うとき、私達にとって私たちはそれらを本物、リアルなものにします。実際に感じられるぐらいリアルなものにします。何がリアルで、何がリアルでないのでしょうか？それはパーソナリティーが何かにアプローチする仕方によります；誰かにとってはリアルでなくても、あなたにとってはリアルであることがあります。

Ｑ：どちらが真実なのですか？

Page6

Ｋ：全ては真実です。気づきのレベルについて話す時には、気づきの４つのレベルがあり、全ては真実であり得るのです。それはアプローチの仕方により、それをどう理解するかによります。私が自分自身のためにそれを真実にするのです。例え私があなたに嘘をついても、私はその嘘を本当だと信じるかもしれません。私がファンタジーを現す時、私はそのファンタジーを信じるかもしれません。私が私の体験を話す時、私にとってそれは真実であり、あなたにとっては単なるファンタジーかもしれません。しかし、私にとってはそれはリアルであり、実際のことであり、私はそれを生きるのです。

Ｑ：それでは私は全ての人のリアリティーを受け入れるのですか？

Ｋ：違います。イリュージョンの世界について話している時、私たちはイリュージョンの世界に生きています。それを見てください。しかしイリュージョンを越えたところには本当のリアリティーがあります。

Ｑ：それでは、本当のリアリティーは非常に精妙な波動なので、私たちの認識、理解を超えているのでしょうか？

Ｋ：勿論、気づきのステートにおいては、それらは人間の理解を超えています。本当のリアリティーは意味を越えた世界です。今、もし誰かが絶対リアリティーのステートに到達するとします；絶対と言うとき、それは絶対ではなくて本当のリアリティーという意味ですが。しかし、例えば実存の諸世界のなかでの現れとしての「生」として、本当のリアリティーです。実存のリアリティーの上に、その人、自己実現した現在のパーソナリティーは他のリアリティーを創造することはできないと思いますか？その人はマインドの様々なバイブレーションをマスターしており、他人のリアリティーさえも創造することができるのです。

EREVNA/SPA 83/KE01/N2